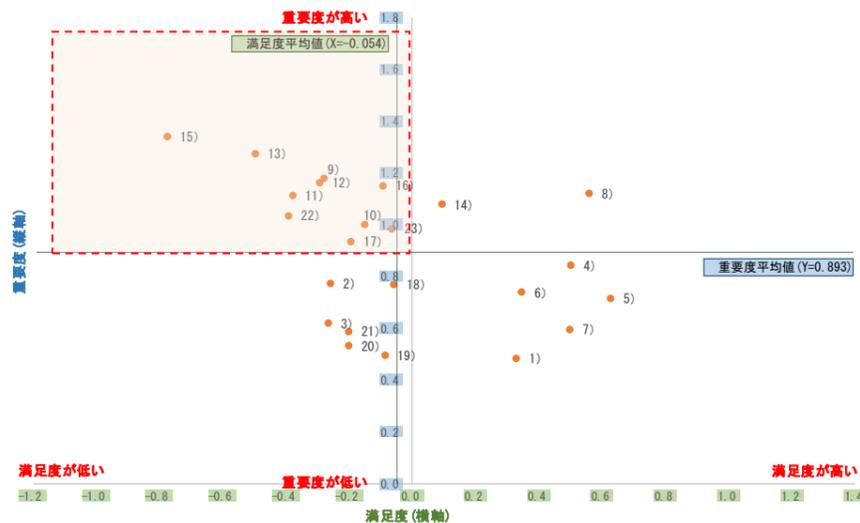


## 1. 市民アンケート・地域別説明会の意見等

### 1-1 市民アンケート結果（西地域のみ）

- 「居住地域における生活環境」では、平均よりも重要度が高いが満足度が低い項目として、「15）河川の整備」、「13）避難場所や避難路」などの10項目があがっています。



項目
1) 自然・緑とのふれあい
2) まちなみやまちなみ景観の整備
3) 歴史文化・観光資源の充実
4) ごみ・し尿処理
5) 悪臭
6) 騒音・振動
7) 日照・通風
8) 買い物の便利さ
9) 公共交通機関（鉄道・バスなど）の便利さ
10) 道路の整備
11) 歩行者・自転車に対する道路の安全性
12) 防災上の安全性
13) 避難場所や避難路
14) 防犯上の安全性、治安
15) 河川の整備
16) 医療施設の整備
17) 福祉施設の整備
18) 子育て支援施設の整備
19) 文化・教養施設の整備
20) スポーツ施設の整備
21) 公園の整備
22) 高齢者などに配慮したバリアフリーの推進
23) 総合的に見た生活環境

- 「居住地域における現在の土地や建物の状況」では、「空き家が増えてきた」の割合（64.1%）が最も高くなっています。
- 「敦賀市の今後のまちづくりの方針」では、「雪や災害に強いまちづくりを進める」の割合（16.6%）が最も高くなっています。

### 1-2 第1回地域別説明会における意見等

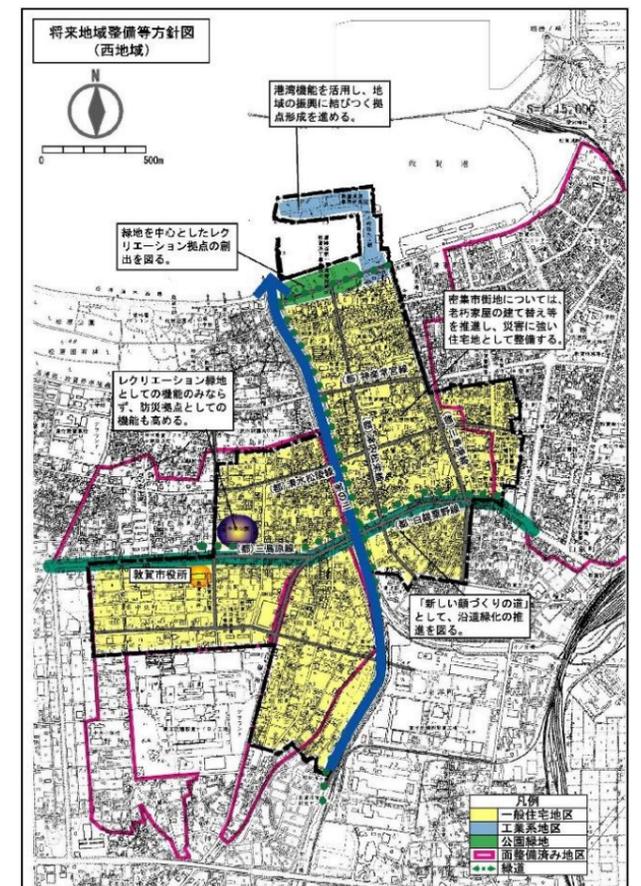
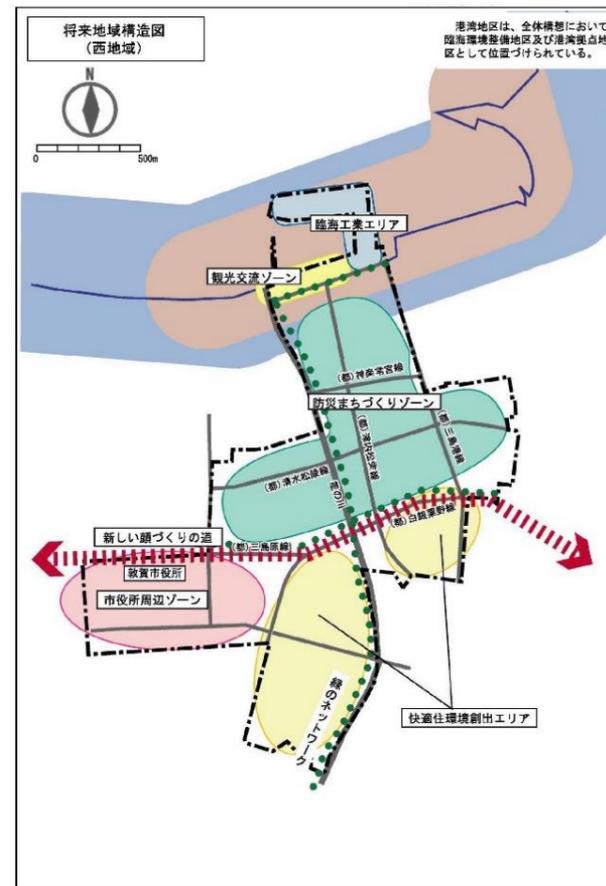
- 令和2年1月22日（水）に西公民館にて計画の内容を説明しました。参加人数：8名。主な意見等は以下のとおりです。

土地利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>松島、松栄の周辺地区は廃れていくことが予想される。松島、松栄、川崎、結城の辺りは、将来的に何も考えられない。</li> <li>密集市街地についての取組が見えない。</li> <li>港湾機能について、コの字（川崎・松栄岸壁）の東西を逆にする。</li> </ul>
道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路の整備。（港湾）</li> </ul>
空き家	<ul style="list-style-type: none"> <li>空き家の解体。</li> <li>この空き家の状況は分かるが、その空き家を具体的にどうするかという具体的な話をしてほしい。</li> </ul>
防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>県の川だから市は手を出せないというのであれば、地元で何が出来るか教えてほしい。</li> <li>住民は笙の川の氾濫が一番危機感を持っており、木ノ芽川も氾濫すると西地域に影響があるため、マスタープランで、もっと具体的に河川整備地区を謳ってもよいのではないかと。</li> <li>笙の川の氾濫対策。</li> <li>雨水対策。（病院）</li> </ul>
公共施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園緑地の早期対策。</li> </ul>
観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>敦賀は海だけではなく、山や川もあるため、都市計画ということであれば、駅周辺だけの話ではない。</li> <li>緑地を活用したレクリエーション拠点の創出について、早急に対応する。（川崎・松栄地区臨港地区）</li> </ul>

## 2. 現行計画の評価

- 平成21年度に改訂し、2020年をもって将来目標年次を迎えた現行計画について、市関係各課の実績をヒアリングし、達成状況を評価しました。

土地利用の方針 〈都市的土地利用〉	住居系 土地利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンパクトな都市づくりを目指し、中心市街地では、誰もが住みやすい、歩いて暮らすことの出来る基盤整備により、まちなか定住の促進を図るとともに、市民主体によるルールづくり等を検討し、より良い居住環境づくりに努めます。</li> <li>緑化推進、河川等とのアクセス・ネットワークの整備により、快適な生活環境形成を図ります。</li> </ul>
	商業系 土地利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウォーターフロントの魅力を活かした、賑わいの創出を図ります。</li> <li>「新しい顔づくりの道」として市役所前通りの道路緑化の推進を図ります。</li> </ul>
	一部未達	<p><b>立地適正化計画の策定（居住誘導区域及び都市機能誘導区域の設定）、市道三島港線のバリアフリー化。</b></p> <p><b>【未達】市役所前通りの道路緑化など。</b></p>
環境等整備方針 〈都市緑地整備の方針〉		<ul style="list-style-type: none"> <li>笙の川緑道、新しい顔づくりの道などの河川・道路の緑化や、松島中央公園、津内緑地等のレクリエーション緑地の保全・育成を図ります。</li> </ul>
	概ね達成	<p><b>松島中央公園・津内緑地の除草等による緑地の保全・育成。</b></p>
環境等整備方針 〈景観形成の方針〉		<ul style="list-style-type: none"> <li>敦賀本港を中心としたポートサイド景観整備エリアをはじめ、笙の川周辺の河川景観や三島橋等の橋詰景観の整備に努め、魅力的な都市景観形成を図ります。</li> </ul>
	概ね達成	<p><b>河川に堆積した土砂の浚渫及び河川敷の除草等による河川景観の保持。</b></p>
環境等整備方針 〈都市環境形成の方針〉		<ul style="list-style-type: none"> <li>市役所周辺を防災拠点地区として位置づけ、市街地における防災機能の向上を図ります。</li> <li>笙の川は、防災上重要な河川であり、今後、河川改修を含めた総合的な整備計画を検討します。</li> <li>快適なベイフロント空間として敦賀本港周辺については、臨海環境の保全・整備に努めます。</li> <li>密集市街地における、安心・安全のまちづくりを進めます。</li> </ul>
	概ね達成	<p><b>防災センター開設による防災拠点の強化、笙の川河川改修事業の実施、老朽危険空き家除却支援事業の実施など。</b></p>

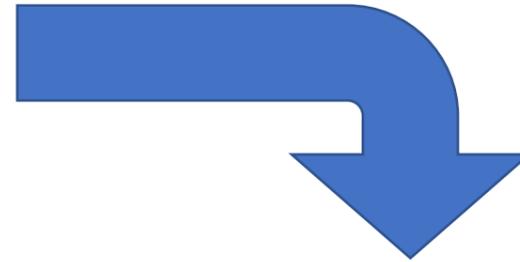


### 3. (1・2を踏まえた) 地域における現況と課題

- 立地適正化計画により、市役所周辺は都市機能誘導区域、その周辺においては居住誘導区域に指定されています。
- 市民の安全安心を確保した災害に強い新庁舎の建て替えが進められています。
- 川崎・松栄地区臨港地区における、緑地を中心としたレクリエーション拠点の創出が求められています。  
【地元】
- 川崎・松栄地区は、国際フェリー及びクルーズ船による交流拠点ゾーンとして港湾計画に位置付けられています。
- 密集市街地に対する対策が求められています。【地元】
- 河川管理者において、河川はん濫防止及び堤防強化として、笹の川河川改修事業が実施されています。
- 笹の川の改修工事の早期完了が求められています。【地元】



(敦賀港港湾計画より)



### 4. まちづくりのテーマ・将来に担うべき都市機能

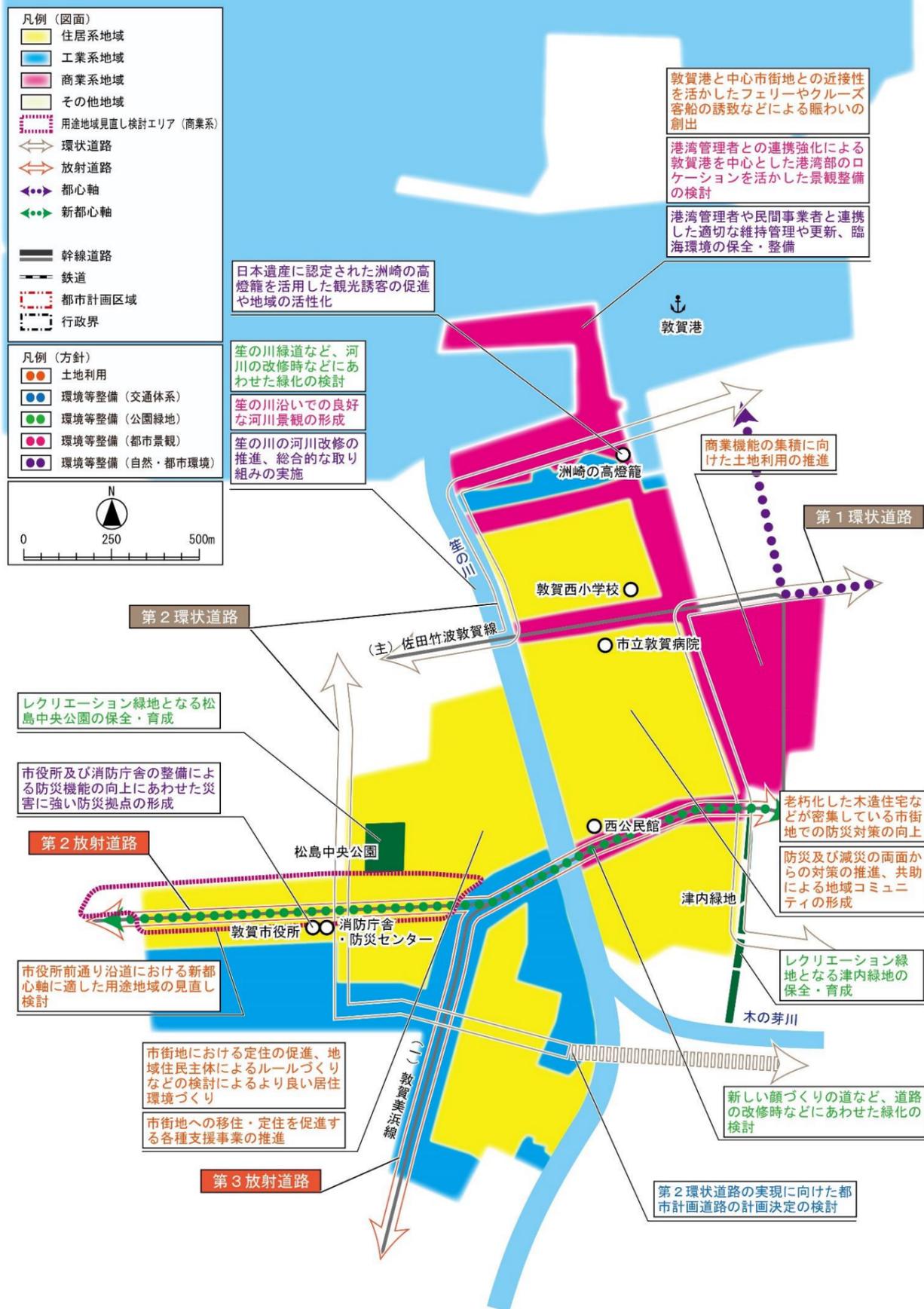
#### 4-1 まちづくりのテーマ

災害に強い快適な暮らしと、賑わいや交流を生み出す魅力的なまち

#### 4-2 将来に担うべき都市機能

●市役所を中心とした新市街地拠点の形成	商業施設、子育て施設、教育施設などの都市機能の立地を誘導し、敦賀市役所を中心とした新市街地拠点を形成します。 ＜基本的な考え方＞ ・立地適正化計画での位置づけを受けて、市役所を中心とした都市機能の集約を睨んだ賑わいづくりが求められています。
●密集市街地における安全・安心のまちづくり	密集市街地の解消、水害リスクに対する防災対策の強化を進め、誰もが安全・安心に暮らせる災害に強いまちづくりを推進します。 ＜基本的な考え方＞ ・密集市街地を笹の川が貫流する地区であり、笹の川の整備による安全性の向上が強く求められています。 ・密集市街地の解消に向けた対策や防災性の向上が求められています。
●魅力ある道路と良好な河川環境づくり	沿道緑化などによる魅力ある道路づくりを推進するとともに、笹の川の整備により良好な河川環境づくりを推進します。 ＜基本的な考え方＞ ・笹の川整備の早期完了に伴う河川環境の整備が求められます。 ・中心市街地から伸びる新都心軸とする市役所前通りの沿道緑化の維持などが求められています。

5. まちづくり方針図と各種方針（案）



西地域 土地利用の方針



**用途地域内**

**住居系地域**

- 「敦賀市立地適正化計画」に基づき、市街地では定住促進や、地域住民主体によるルールづくりなどを検討し、より良い居住環境づくり。
- 市街地への移住・定住を促進するため、各種支援事業を推進。
- 老朽化した木造住宅などが密集している市街地では、防災対策の向上。
- 防災及び減災の両面からの対策を推進するとともに、共助による地域コミュニティの形成。
- 市役所前通り沿道については、新都心軸に適した用途地域の見直しを検討。

**商業系地域**

- 敦賀港と中心市街地との近接性を活かしながら、フェリーやクルーズ客船の誘致などにより賑わいの創出。
- 市街地を活性化するため、商業機能の集積に向けた土地利用を推進。

西地域 環境等整備方針

**交通体系**

- 中心市街地拠点を取り囲む第2環状道路の実現に向けて、都市計画道路の計画決定を検討。

**公園緑地**

- 筥の川緑道、新しい顔づくりの道などの河川・道路については、河川・道路の改修時などにあわせ緑化を検討。
- 松島中央公園、津内緑地については、レクリエーション緑地として保全・育成。

**都市景観**

- 敦賀港を中心とした港湾部は、港湾管理者との連携強化を図りながら、ロケーションを活かした景観整備を検討するとともに、筥の川沿いで良好な河川景観を形成。

**自然・都市環境**

- 敦賀港及び周辺施設については、港湾管理者や民間事業者と連携しながら、適切な維持管理や更新を行い、臨海環境を保全・整備。
- 水害からの安全確保を図るため、筥の川の河川改修を推進するとともに、総合的な取り組みを実施。
- 市役所及び消防庁舎の整備による防災機能の向上にあわせ、災害に強い防災拠点を形成。
- 日本遺産に認定された洲崎の高燈籠を地域の歴史文化を伝える観光資源として活用し、観光誘客の促進や地域の活性化

## 敦賀市都市計画マスタープラン策定に関する第2回地域別説明会（西地区） 開催結果

### ■開催概要

開催日	時間	場所	参加人数
2月3日（水）	19：00～20：30	西公民館	6人



### ■参加者からの意見等

	意見	回答
●全体構想の方針（案）		
都市づくりの将来像		
都市づくりの将来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>敦賀は豊かな自然の中にあるまちであるので、都市づくりの将来像「歴史・文化、産業を育む～」に、「自然」という言葉も入った方が良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上位計画である敦賀市総合計画の基本理念や県策定の都市計画区域マスタープランのテーマを考慮し、都市づくりの将来像を設定した。</li> <li>「豊かな自然」も必要な部分であると認識しているため、「自然」を加えるか、前向きに検討する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「住みたくなるまち敦賀」については、外からの移住者と現在住んでいる者とで伝わり方が異なる。</li> <li>「住み続けたいまち」というニュアンスならば、現在住んでいる者の気持ちが言葉に表れて良いのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在住まわれている方や、市外に転出された若者にも、敦賀に住み続けたいと感じていただけるようなテーマを作成したいので、文言を修正するかを検討する。</li> </ul>
都市づくりの基本方針		
コンパクトシティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンパクトシティの必要性について説明してほしい。</li> <li>必要性などを整理したものがあれば、教えてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>立地適正化計画は、人口減少と様々なコスト増（社会保障の扶助費、公共施設・インフラ等の更新維持費など）を鑑み、まちの居住を集約し、その中でインフラ設備や限られた施設を活用していく必要があることから、計画を策定した。</li> <li>立地適正化計画は都市計画マスタープランの一部とみなされるため、立地適正化計画の内容を十分に考慮しながら本計画の策定を進めている。</li> </ul>
●地域別構想の方針（案）		
土地利用の方針／住居系地域		
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>西地域内は非常に道路幅が狭いため、住環境の整備に関しては遅れていると思う。</li> <li>このことについて、今後どのようにして計画に反映されるのか、非常に期待している。</li> </ul>	—
環境等整備方針／自然・都市環境		
河川・防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>笹の川沿いに住んでいるが、水害について非常に危機感を持っている。</li> <li>笹の川、木の芽川の整備について一番関心があるが、説明会に専門家も出席してほしい。</li> <li>防災について、河床掘削では現実的に笹の川の流下能力は確保できないと思う。</li> <li>木の芽川にいたっては、河川整備計画すら策定されていない。</li> <li>木の芽川と笹の川を一对のものとして考えて、市ももっと防災対策について考えて県へ</li> </ul>	—

	訴えてほしい。	
●その他		
市民アンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画策定の過程で、市民アンケートや地域別説明会の内容が大きな意見として入ってくると思うが、多くの市民の意見がきちんとくみ取られ、作り込まれるようにしなければいけないと思う。</li> <li>市民アンケートの配布数と回答数はどれくらいだったのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民アンケートは、市内に居住する18歳以上の男女3000名の方に無作為で発送し、回収率が39.7%と、有効なアンケートが実施できたと考えます。</li> <li>市民アンケート結果は、市ホームページに公開している。</li> </ul>
地域別説明会	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回地域別説明会の参加数と、どのような意見が出されたのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回地域別説明会の参加者は8名でした。</li> <li>第2回目の開催にあたっては、1回目の反省を踏まえ、広報つるがやRCN、FMなどの活用の他、区長を通じて回覧も実施した。</li> <li>説明会に参加できなかった方のために、公民館に一定期間、配布資料を設置している。</li> </ul>
公共施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>北小学校の跡地はどうするのか。</li> <li>北地区ではどのような提案があったのか。</li> <li>小中一貫校を建設するときから跡地をどうするかを考えなければいけない。</li> <li>昔桜町にあった市庁舎を中央町に移転されたが、今度は中心市街地に移転させ、活性化しなければいけない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利活用については、現在検討が進められているところである。</li> </ul>
まちづくり（駅東）	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅東地区に道の駅を造るべきだと思う。</li> <li>駅東側に県道が整備されるが、そこに道の駅をつくり、そしてトンネル温泉の湯を引っ張ってきて温浴施設を造るといいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市としては、長年かけて駅西から港へと延びる中心市街地を整備してきたため、新幹線で来られた方も駅西の方へと向かっていただけるようなまちづくりを進めていきたい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>リラ・ポートは閉館して1年たつと思うが、本当に再開するのか。</li> <li>その湯を引っ張ってきて温浴施設をつくり、そしてショッピングモールをつくるような計画でもしないとイケない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リラ・ポートについては、現在、在り方委員会で再開に向けた協議を続けているところである。</li> <li>現時点においては、駅東地区を中心とした中心市街地、金ヶ崎地区などで、観光客に来ていただき、賑わいを創出するというのが、今回の考え方の方向性になっている。</li> </ul>
現行計画評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>現行計画について、事業化されたものと、事業化されなかったものの理由を説明してほしい。</li> <li>現行計画では、環状道路網の整備と駅東地区土地区画整理事業が目玉だったと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現行計画の評価については、配布資料P4に記載させていただいた。</li> <li>現行計画において、駅東地区の区画整理という話は聞いたことがないので、改めて確認させていただきたい。</li> </ul>
北陸新幹線	<ul style="list-style-type: none"> <li>木の芽川の上流は、12時間雨量で200mmぐらいの放流があったら北陸線の鉄橋が流されるか橋脚が破綻すると思うので、市は真剣になって県へアピールする必要がある。</li> <li>一番大事な河川の流下能力を全然見ていない。</li> </ul>	—
都市計画マスタープラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画マスタープランは、もっと具体的に描いてほしい。（歩道整備や沿道植栽、区画整理事業など）</li> </ul>	—